

# ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No. 16 2012年(平成24年)10月発行  
〒939-8630 富山市本郷町13番地  
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会  
発行責任者 石山 彰 雄  
印刷 / 株式会社 宮越印刷

## 平成24年度 **ほんごう会大懇親会** に 多数の参加を!!



### ほんごう会大懇親会 (平成24年度総会)

場所 / 名鉄トヤマホテル

会費 / 30才未満及び女性 ￥3,000  
30才以上の男性 ￥5,000  
新卒者 無料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方はメール、FAX または同封の  
はがきにて、**10月26日まで**にお知らせ下さい。

### 11月3日(土)

PM5:00~ 講演会

松井紳一郎教授

PM6:00~ 懇親会(総会)

詳しくはほんごう会ホームページ

ほんごう会  検索

または、同窓会メールまで

E-mail: info@tk-hongou13.net

いっぺんこられまあー



23年度  
ほんごう会にて

## 御挨拶 —今、求められる高等教育の質保証—

校長 米田 政明

仲秋の候、富山高専同窓会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から皆様の母校富山高専に対して格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

このところ3年間、本誌でのご挨拶で天候のことに触れましたが、今年も先ず天候のことを書かせていただきます。何と言っても、今年の夏は異常に暑い夏でした。最高気温の予報が35度前後は当たり前で、30度と聞くと、今日は涼しいなと感じたものでした。熱中症の予防に「こまめに水分を取り、冷房を適切に使用」するようにとのテレビのアナウンサーの呼び掛けが今でも耳に残っています。同窓会の皆様は熱中症、大丈夫だったでしょうか。

暑いと言いますと、今年の夏はロンドンオリンピックがあり、日本のメダル獲得数38は史上最多とのことで、まさに日本中が熱く燃えた夏でもありました。特に「なでしこジャパン」に代表される団体競技あるいはチームとしての活躍が顕著で、水泳競技の入江陵介選手の「日本チーム27人のリレー」というコメントが印象に残りました。メダリストの銀座パレードには50万人の人が集まったとのことで、昨年の東日本大震災と原発事故から未だに立ち直れていない日本にとって、復興の大きなバネになるオリンピックの夏だったと思います。

さて、平成21年10月に統合・高度化再編して誕生した新富山高専ですが、今年は新課程の第1期生が3年生になり、旧課程の学生より新課程の学生の方が多くなりました。すべての学生が新課程の学生になる、いわゆる「完成年度」(平成26年度)まであと1年半となっています。平成26年度末に新課程の第1期生が卒業して同窓会の会員になりますが、その時点から、それまでの4学科160人から3学科120人に減ることになります。高専体

育大会やロボコンなどの各種競技会への参加チーム編成が徐々に難しくなるなど、学科数が減ることによる影響が各所に現れてくると考えられますが、一方では、学生当たりの教員数が増えるので、教育・研究の文字通り「高度化」のチャンスであり、知恵の出どころとも言えます。

政府の国家戦略会議で、ある委員から次のような意見が出たと報じられました。日本の大学は「出口での質保証」がきちんとなされていない。大学は再編・整理が必要ではないか。その点、高専は実践的技術者をきちんと育成し、よくやっていると。確かに求人倍率や就職率などを見れば、高専は大学より勝れていて、「お褒め」の言葉は有難く、励みにもなりますが、それに満足することなく、高専も出口での質の更なる保証に向けて努力していく必要があると考えています。

国立高専機構が掲げる、出口での質保証につながる高度化の柱は次の2本です。

ものづくり企業が製造拠点を相次いで海外に移すなど、急速に進展するグローバル化に対応した人材の育成。

地域社会、産業界のニーズを掘り起こし、高専教員と企業技術者との共同研究・共同教育を通して、これらのニーズに適合した人材の育成。

本校も、この柱に沿って、実践的かつ創造性に富む人材育成のPDCA (Plan, Do, Check, Action) を回していく所存です。そのため、「地域に愛される高専」を目指して、学生、教職員一同、一丸となって努力して参りたいと考えています。

同窓生各位におかれましては、これまで同様、皆様の母校に対するご理解並びにご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



## 所 感

一般教養科 松井 紳一郎

卒業生の皆さん、こんにちは。しばらくぶりに同窓会名簿に目を通してみると、当時の懐かしい顔が思い出され、近況をお聞きしたい心境に駆られます。

私が体育教員であったことから、すべての学科の学生諸君と出会えたことを大変嬉しく思っています。授業方針としては、下学年次ではソフトボール、サッカーなどの集団種目を取入れることでクラス内、他学科、学年を超えた仲間作りが出来ます。また 社会に出ると自己責任も要求されることから、高学年次ではテニス、バドミントン、ゴルフなどの個人種目を導入した授業展開を旨とした40年間でした。

学級担任としてもMECKすべての学科を担当しましたが、卒業後のクラス会の席上で、生き甲斐と情熱に満ちた話を聞く度に成長した姿が頼もしく、同時に私自身も活力をもらえる喜びを感じています。

柔道部は全国高専柔道大会に於いて、団体3位以内の上位入賞22回（優勝7回含む）は全国最多入賞回数、また団体3年連続優勝校や個人3回優勝者に与えられる文部大臣特別表彰を受賞し、柔道部の活動に貢献できたことをとても嬉しく思っています。これも同窓会からクラブ活動助成金を頂いたお陰もあったと思っています。

校務では、寮務主事、学生主事の職から、寮生会や学生会役員と寮祭、高専祭、校内体育大会、球技大会、リーダー研修会等について、色々と論議したことを覚えています。その他にスキー実習、キャンプ実習、新入生オリエンテーション、ゴルフ実習等学生諸君と接点が多かったことも懐かしい思い出です。

特に印象に残っているのは、平成2年4月富山高専開校25周年記念（学校と同窓会が主催）特別講演会です。ロス五輪金メダリストの山下泰裕氏（当時東海大学助教授・国民栄誉賞受賞）を講師に

招く交渉役として白羽の矢が立ちました。出身大学も異なることに加え、年間400回以上の講演依頼のある山下氏との交渉は2度も断われました。苦肉の策で、山下氏の恩師の佐藤教授の兄嫁が富山県にゆかりのある方であったことから、佐藤教授に接見し、了解を取り付けました。交渉に同行してもらった中川英世（元本校教員）先生に感謝しています。ところが講演会当日、会場の旧富山市公会堂に山下氏が現れたのは講演開始2分前でした。携帯電話もない時代、そして会場は超満員。「スポーツと人生 柔道と私」の講演垂れ幕の脇から本人が現れると、会場から拍手とウオーと言う歓声があがりました。私は安堵し、目を閉じたまま胸をなでおろしました。

中学生に柔道の投技の魅力を伝達する本校の公開講座「技のしくみと力学」を14年連続で開講し、多い年は120名を超える中学生が受講しています。また現在は富山県柔道連盟理事長職を務め、県内の柔道発展に尽力しています。

17歳で体育教師にあこがれ、熱意あふれる学生諸君との出会いに感謝し、こよなく愛する富山高専の発展を祈念しながら、私の所感とさせていただきます。



昨年の大会より



## 『昭和五十年代のこと』

一般教養科 藤堂最音

若い頃（学生時代とは書けない、お察し下さい）はまったく考えてこなかったし、適性があるとは夢にも思えぬ職業について、長い年月がたちました。そろそろ箸を置く（草鞋をぬぐ、か？）時が来たようです。

教員試験は高校で受験したので普通科の先生ぐらいかと予想していたら、郡部の中学校に配属させられました。同期には、小学校に回された人もいました。そういう巡り合わせの時期だったようです。

最初の頃はいつ辞めようかと思って毎日暮していましたが、いつの間にかなじんでしまいました。当時はいい（能力もあり、人柄も高潔）先生がいっぱいおられました。今ならマスコミにガンガンたたかれるような遊び方もしていました。

昭和二十年代は、多種多様な方々が、食いつなぐために教職につかれ、「デモシカ」先生とけなされていましたが、玉石混淆、つまりエントロピーがまだ貯まっていない人間の集団というのは面白いものです。

当時はまだ「戦後」という妙な熱気が、学校現場にあふれていたのではないのでしょうか。

中学校は郡部で二校経験しましたが、教師という職業にとっては、とてもいい経験をさせてもら

いました。

教育技術という意味では原始的でしたが、いのちを持っていて、何かを呼吸している存在としての子供たち（生徒のことをこういうふうにする人も多かった）と何年かを過ごせたのは、僥倖といえるでしょう。

「今は昔」なのでしょうか。

五年して高校に異動しましたが、当時最底辺高といわれていた工業高校で、赴任するかしないかの内に、担任するはずの子を警察署にひきとりに行くという強烈なスタートでした。

ところが、すばらしい能力と使命感にあふれた先生が何人もおられ、終始圧倒されていました。普通科と違って試験して偏差値だけ計算していればよい、という学校の対極にある現場でした。教育技術的には、この学校の内外で大きなことを学ばせてもらいました。学ぶこととはどういうことか、教えるということとはどういうことか、情緒的ではなく、客観的かつ鮮明な解答を持つことを要求されたというわけです。

次の普通科高校と本校のことを書くヒマがありません。悪しからず。

## ごくろうさまでした！！

松井先生、藤堂先生、お二人は、今年度で定年退職されます。長い間、数千人の本郷キャンパスの学生のためご尽力いただきありがとうございました。

今後は、本郷キャンパスの枠を超えて益々活躍されることを期待して同窓会からもお礼申し上げます。





## 創設50年にあたり

同窓会長 石山 彰 雄

高専第1期校開設が昭和37年であり、今年で丁度50年となります。

富山高専は3期校で2年遅れとなります。

この50周年に当たり、現在の高専制度について、同窓会としてOBとして考える良い機会だと考えます。

昨年の会報「ほんごう」にも記載したとおり全国の高専同窓会を集めた全国高専同窓会連絡会が3年前から開催されています。

このなかで高専制度を考えるしかりとした全国高専同窓会連絡会を組織しようと提案していますが、全国から集まる同窓会約35会の大多数の考え方は、規約などの縛りある組織とする必要性を感じておらず、とりあえず、高専制度などという面倒くさい議論ではなく、同窓会相互の情報交換ができる場であれば良いとする考えが大半を占めています。

同窓会として集合している担当者でさえ、こんな考えであれば、尚更、OB一人一人の感覚のなかに高専制度を議論しようなどという考えがあるうはずもないのかもしれませんが。

15年程前に、全国の同窓会で高専制度について議論したらと提案したときかえってきた言葉は「お上の決めたものに議論など・・・」が、とある高専の同窓会長の発言でした。

又、とある商船高専同窓会の考え方は、「現状に満足しているの、全国同窓会連絡会などには参加しない。」との表明でした。

これでは衰退あるのみで、前進のないのは明らかなのですが・・・。

で、気分を入れ換え、私がこれまでの高専制度のなかで、改善、改革しなければならないと考える事は、

### ① 名称の変更

現在、学校教育法上に「高等専門学校」の章がありますが、立法段階では、御存知のとおり「専科大学」として立法される予定でした。

「専科大学」の創設と同時に「短期大学」は新たな創設ができなくなる等により、短期大学側から猛烈な反対に合い「高等専門学校」なる名称となってしまうました。

現在、「高等専門学校」を本当に理解しているのは、明らかに高専に関係する教職員、OB、関係

者のみです。

未だに「高専高校」「どこの専門学校？」などの反応しかありません。

優秀な中学卒業生を受け入れるには、現在の高専の教育内容、OBの活躍ぶりなど見てもらえればよく判ります。

しかし、それだけでは、高専の宣伝にはなかなかありません。やっぱり、名・実共に体裁を整える必要があることは明らかです。そのために是非、創設当時に遡って「専科大学」への名称変更を考える必要があるのではないのでしょうか。

### ② 長岡・豊橋両技術科学大学の大学院への改編

初代野路学校長が、同窓会報第3号(昭和46年度)の巻頭言で工業技術大学院の構想を嬉しそうに掲載されていました。しかし、次号昭和51年度発行の同窓会報の巻頭言では、工業高校卒業生を受け入れる大学という組織形態となり大学院の名称は使用できなくなったと(やや)嘆いておられました。

高専制度を真剣に考え、高専ブランドというものをしっかりした形態とするためには、高専卒業生のための大学院が当面のように必要だろうと考えます。

高専卒業生が大学3年に編入して、又、同じ様な専門課程の授業を受ける必要などないと思われれます。

又、大学編入後の最終学歴はやっぱり〇〇大学卒となり、高専ブランドが世の中に知られなくなり、高専の評価は高まらないと思われれます。従って高専卒業生のみのための大学院が必要で、長岡・豊橋両技術科学大学を是非、大学院として再編し、高専ブランドをしっかりと育てる必要があると考えます。

以上2点の外形的な問題など多くの - もっと高専が日本の物づくりを支える屋台骨として - 改善すべき点を同窓会そしてOB、OGが真剣に考えて、発信してゆかねばならないと思っています。

もち論、法律改正をしなければならず、一朝一夕で出来るものではありませんが発信しなければ何も変わりません。

是非、賢明な同窓生各位の御協力を御期待申し上げます。

# 平成24年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

統合後の高専の同窓会として体制を確立する。

## 具 体 的 事 業

### 1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化

理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会は、会則どおり11月3日(文化の日、土曜日)に開催する。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

### 2. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

### 3. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

- ① 10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ② 写真と会報用の簡単な原稿を提出
- ③ クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

### 4. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

### 5. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の共催

後援会との共催、学校の協力により祝賀壮行会を例年どおり実施し、同窓会の卒業生に対するP.R.そして積極的な参加を訴える。

### 6. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

### 7. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

### 8. 在校生への講演会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

### 9. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」及び「全国高専同窓会連絡会」と連携し情報の伝達を行う。

### 10. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

## 同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名
会 長	M 3	石 山 彰 雄
副 会 長	M 4	丸 山 治 久
副 会 長	M 6	布 村 敏 夫
常 任 理 事	E 5	山 田 直 樹
"	M 8	宮 越 成 幸
"	K 8	奥 野 耕 市
"	C 10	打 出 孝 彦
"	E 21	長 田 晃
"	C 21	畔 田 博 文
関 東 支 部 長	M 1	長 谷 治 男
監 事	C 3	米 谷 正
"	M 14	本 江 哲 行

# 会員のひろば クラス会・OB会情報

## 工業化学科20期生 同級会

昨年は、幹事(窪)の都合で同級会開催が延期となりましたが、今年は何んとか開催することができました。

今年の出席者は8名(内、女性2名)でした。場所は、電鉄富山駅ビルエスタ 4Fにある炉端長屋ー(いちいち)です。

駅前の夜景が一望できる人気の部屋を予約して8月14日(日)に開催しました。

案内ハガキを返信してくれた人の近況で盛り上がったたり、東日本大震災と福島原発事故で身近にどのような影響を受けているのか、Facebookのアカウントを交換しあったり、次回の幹事を誰にするかを決めたりと本当に盛り上がりました。



皆が集まれる機会があることの喜びに改めて気づかされました。

来年の幹事さん(未定)、宜しくお願いします。  
(工業化学科20期生 窪)

## M8 同窓会

2年おきにお盆の時期に行っているM8同窓会ですが、幹事の都合でお盆に間に合わず、平成23



年10月9日(日)の連休に電気ビルレストランで開催しました。

お盆の時と違いわざわざ同窓会のために帰省してくる者も少なく、また、連休ということで他へ出かけている者などで13名の出席でしたが、2年ぶりに級友に会うと一気に学生時代にタイムスリップ。56歳と定年まじかなのに、いまだに覚えている出席簿順がでてきたり、各自の近況、転職歴を話し合ったりとあっという間にお開きの時間になりました。

次回の幹事(五十嵐・池田)を決め、2年後にまた会う事と還暦の時には、伊勢参りにしよう、還暦を過ぎたら毎年にしようか?など、おおいに盛り上がりました。

(幹事 朝日・網谷、文責 宮越)

## C3 同窓会

平成23年11月5日、富山工業高等専門学校工業化学科第3回卒業生(昭和46年3月卒業)16名が富山県東端の宮崎海岸の旅館に集いました。今も現役でサッカーを楽しんでおられる恩師塩谷先生をお迎えし、クラス36名全員が無事還暦を迎えたことを祝い、そして第2の人生を頑張っていこうと誓いながら真夜中まで飲みや歌えの大宴会を行いました。東北大震災やNZ地震、豪雨など試練の多い年ですが、復活への

バネにしようと思決意した1日でもありました。

若嶋 記



### 工業化学科一期生の同級会を 越後湯沢で開催

平成 23 年 10 月 2 日(日)、工業化学科一期生の同級会を開催しました。今回は関東に在住の卒業生有志 6 名が幹事となり、富山と東京のほぼ中間点である越後湯沢温泉「花月」での実施です。会費は同じで旅費の負担をほぼ同じにしようとの配慮から、この地点を選びました。また、還暦を 3 年も過ぎて休暇取得も関係ないと思われること、宿も比較的すいているだろうとの目論見のもとに、日曜の一泊を選びました。みなさん悠々自適と思いきや、大変結構なことですが、まだまだお仕事をされている方が多く、20 名(約半数)の参加でした。当日は日曜日ということもあり、早朝に富山を出て、越後湯沢近くを観光してからの方も何人かいました。

夕方から小雨が降ったものの駅から徒歩数分の宿で、温泉でからだを温めたあと宴会と相成りました。来賓として、恩師の布本先生と、なんと開校初年度の寮や食堂でお世話になった、栄養士の角川さん(旧姓山淵さん 東京在住)の参加もいただいていたので大宴会でした。その後幹事の部屋に集まり、午前 2 時半頃まで二次会が繰り広げられ、大いに盛り上がった夜でした。次回の幹事を決め、再会を約して、翌朝それぞれに別れていきました。

このお宿、みなさんにもお勧めですよ。(10 人以上なら格安)

当日のことを恥ずかしながら、漢詩に表してみましたのでご笑覧ください。

工業化学科一期生

今回の幹事代表 津田 哲行



同級生 湯沢温泉に集う 津田西山

山林小雨楽岩湯 里語傾杯喜夜長

日月東西追又去 白頭南北桂花香

(読み)

山林の小雨、岩湯を楽しみ 里語、杯を傾け 夜の長きを喜ぶ

日月は東西に 追いまた去る白頭は南北に、桂花香る

(意)

宿に着いてまず露天風呂。秋の雨が音もなく降りだした。

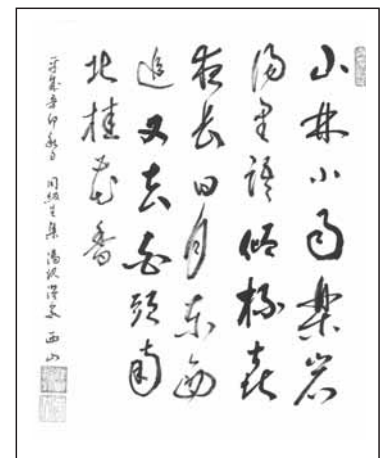
今日はクラス会、宴会は盛り上がり、杯を傾けながら語るはお国訛り。秋の夜はまだ長い。

明ければ日は高くのぼり、日を追いかけて月も出てきた。昼の月だ。太陽と月は天空で追いかけてくをしているようだ。

白髪頭の級友たちは、越後湯沢駅より、再び南北に別れる。再会を期して。

どこからか金木犀の花が匂ってくる、秋の深まりつつある越後路であった。

秋雨や心やすめる露天かな  
方言の飛び交う宴の夜長かな  
日月のめぐりて今朝の天高し  
木犀や再会を期して別れけり





## 第21回 電友会

日時：平成 23 年 11 月 19 日(土) 15:00 - 17:00

受付開始 14:30～

場所：グレース パリ 新宿店 3F

リーフの部屋にて (立食)

参加者：小川先生含めて 24 名

今年も無事に電友会を開催することが出来ました。3 度目の幹事ですが毎回 緊張して開催日を迎えます。先生、先輩、後輩のみなさんと会えるこの電友会は、毎年 11 月頃に開催している関東地方の富山高専の電気工学科卒業生の集まりです。

早いもので今回の電友会で 21 回の開催になりました。今年も、退官された小川 勝先生をお迎えして昔の高専、60 歳定年、転職、東北の震災などの話題で大いに盛り上がりました。最後には、来年も開催することを誓い合い一次会を締めくくりました。

第 21 回 電友会 幹事

電気工学科 第 12 期卒業の大沢 潤一



## C5 同窓会(H24 年度) in 富山自遊館

第 5 回生は、今年還暦を迎えます。本年を境にこれまでとは若干違うライフスタイルに入る方も多くなる節目の年です。そこで、我々工業化学の卒業生も久しぶりに集まることにしました。新春 1 月 2 日の午後 4 時から富山市の自遊館の 3 階にある「有峰」にて同窓会を開催しました。参加者は、宮谷大作先生と 3 名の女性を含めて総勢 13 名でした。

宮谷先生の乾杯の音頭の後、一人ずつ順番に近況などを報告しました。会社のこと、子供のこと、趣味のこと、学生時代の思い出など、さすがに 40 年の重みを感じる話とそれに対するつつこみで時間があっという間に経過していきました。各自の報告が終わった後、木村俊哉さんが得意なクラリネットの腕を披露してくれました。健康上の理由から飲めない方が多いとのことでしたが、生演奏が始まった頃からアルコールの消化がハイペースで進んだ模様です。

それにしても、御年 72 歳の富谷先生の元

気な姿には驚かされました。少なくとも日本酒についてはまだまだ現役です。全員で記念撮影後、最後に永遠の級長である水須正之さんの一本絞めで閉会としました。

嬉しい限りだったのは、「今日はみんなから元気をもらった」という声でした。

同窓会のよいのは、何ととっても「青春を共に過ごした仲間と一緒に生きた証を確認すること」ではないかと思います。 (報告者：小川和男)



## M15 同窓会

H24年1月3日 高志会館において、50才を迎える年を機に久しぶりに同窓会を開催しました。前は30才の時だったのですが、子育てや仕事であつという間の20年間でした。

50才にもなれば一見おじさんの集まりですが、中身は30数年前の教室に居るころと変わりのない仲間たちでした。

今回は1～3年時担任の小宮山先生と4、5年担任の田島先生にも参加いただきました。

お元気なお顔を見せていただき嬉しく、楽しいひと時を過ごすことができ、懐かしい話や近況報

告は尽きることなく、次回幹事を決め再会を約束し3次会にて解散しました。

今回参加できなかった同期の方々、連絡の取れていないあなた、会報を見て連絡してください。

次回幹事長は中川和浩さんです、是非皆さんの参加を期待します、宜しく！（報告者：中川 均）



## C21 クラス会 平成元年卒業

年の瀬おしせまる平成23年12月30日、雪の多い年ではありましたが担任をしていただいた尾崎先生、篠田先生を含め21名が集い富山駅周辺でクラス会を行いました。

C21 と言えばイケ男25人にキュー・トな女子学生15人を加え、個性豊かではありましたがバランスのとれたクラスでした。

六時半開催ということでしたが、いつから飲んでいたの？と、思えるほど定刻前から既にもう全員がハイテンション。

幹事石須くんの挨拶で五年ぶりのクラス会が始まりました。

先生方も80歳過ぎとは思えないほどお元気で、ご覧の写真の通りです。

笑顔も昔のままで、短い時間でしたが楽しんでおられた様子でした。

五年ぶりに会う2時間などすぐに過ぎるもので、そのままのメンバーが2次会のカラオケ店へ移動。

なぜかカラオケは歌わず、マイクで近況を各々報告することになりました。

皆、色々な道で活躍の様子でした。

海外勤務中のもの、転職をしたというもの、

“子供が生まれたばかり”と目を細めるものもいれば、もう自分達が卒業した年齢を越えた子供を持つ人もちらほらいるくらいです。

40歳を過ぎてはじめてのクラス会でしたが、写真の中の私達はまだまだ若いでしょう？

細かい話はなしでもノリは昔のままで、皆の元気な様子が伝わってきました。

その後、幹事達は3次会まで付き添いましたが4次会まで行ったものもあつたとか、なかったとか？

引継ぎの幹事会では今回は楽しかったし、今後は短いペースでクラス会を開こうということになりました。

では、C21の皆さん、また近々会えるのを楽しみにしています。

幹事一同記



## 機械工学科一期生(M-1)同級会

2012年8月22日 尾川敬一 (39-2)

お盆明けの8月16日・17日の両日、機械工学科一期生の第六回同級会を開いた。

場所は宇奈月のニューオータニホテル。恩師の森先生に来ていただいて総勢22名の参加者。

卒業44年間の中でたった5回しか開いていない同級会を、今回は2年ぶりという異例(?)の短い間隔で開いたにもかかわらず、半数以上が参加して大変な盛り上がりであった。

特に、3年終了で我々と別のコースを辿り、現在総合病院の院長を務めている者と女子高校の英語教師をしている者が参加してくれたことには特別な喜びを感じたものである。

以前はそんなに会いたいとは思わなかったのに、何故か最近では皆の顔を見たいと強く思うようになったのは、年齢60代半ばを迎え、4名の物故者を数えるようになったことと無縁ではあるまい。

初日の宴会・二次会。穏やかな雰囲気の中で、喜々とした顔つきで会話している姿はとても印象的であった。お互いが相手の話に真摯に耳を傾け、相手の全てを受け入れながら和気あいあいとして会話する姿を見て、「みんな

ない年をとったな」という感慨に浸ったのは私一人だけではなかったように思う。同級会をやったよかったな・・・と感じた瞬間であった。

今回は、富山県の中でも遠いはずれ迄来ていただいたのに 宴会だけで帰ってもらうのは忍びないと思い次の日にオプションツアーを企画した。

ゴルフコンペと、黒部峡谷の黒薙温泉の二コース。どちらも猛暑で大変な汗と脂にまみれた一日ではあったが、それだけに強く思い出につながったようだった。

次回石川県での再会を約束して別れた。

「生きて、また会おう・・・長生きしたものが人生の勝者だ」誰かが言った言葉を胸に刻んで・・・後日、ホテルでの集合写真と、300枚強の写真をプリントしたCDを参加者に送った。

暫し、思い出に浸って明日への活力にしてもらいたいものである。



富山高専M-1同級会 思い出 平成24年8月16日 於 宇奈月ニューオータニホテル

## M3 クラス会 呉羽ハイツ

M3クラス会は、オリンピック開催年に実施することになっています。今年は、呉羽ハイツで1,2,3年と担任していただいた石崎先生を含め11名で行いました。朝から、希望者でゴルフを楽しんだため、参加者の半数は真っ黒に焼けていました。

このクラスは、酒宴が盛り上がった頃に、恒例の近況報告が始まります。まず最初に、同窓会長を務め、クラス会の幹事でもある石山が「高専制度の存続の必要性」について熱く語ってくれました。いつものことですが、このクラスは、人の発言中に質問や異議が飛び交い、近況報告が前に進まないのです。今回も同様、激しい口論が止みま

せん。でも、皆さんニコニコしながらその場にいるのです。自慢話は自分のことのように喜びあっています。石崎先生が「高専制度のいいところはこの雰囲気じゃないの」とつぶやかれ、皆さんなぜか納得していました。

前回も思ったのですが、この仲間の輪にいることの幸せを感じた一夜でした。(報告者：立浪 勝)



## E3 クラス会 乳頭温泉

E3 はここ数年毎年7月の海の日三連休に「E3 クラス会」として宿泊を伴う旅行を行っており、昨年度は奈良和歌山の二泊でした。

今年は東北大震災復興祈念として、被災地で金を使う目的で早くから東北に行くことと決め計画を立て世界遺産にも登録なった中尊寺と、乳頭温泉郷に行ってきました。

今年は、同学の奥さんから「あなたばかり毎年毎年旅行してと」焼餅、クリーム(?)が付いたそうで奥さんを帯同して参加してくれた仲間が2組あり、全部で17名の参加今までと違った雰囲気となりましたが次年度からは配偶者や家族もOKと



いう意味で「3E旅行会」と表題を変えようと思っています。

北陸組はレンタカー乗合せ5人、電机组1人(夫婦で仙台まで往復、以後別行動)夫婦で自家用車2組。首都圏は2台で6人。関西から東京での事前泊1人とそれぞれの方法で一関市まで行き集合。三連休なので渋滞を心配したが、意外にスイスイと、拍子抜けした。

わんこそばや、10割蕎麦、山菜や素朴な芋汁もを味わい満足。世界遺産中尊寺の金色堂に溜息し、雨の毛越寺庭園はしっとりと落ち着き感慨深い。被災地気仙沼の復興屋台村で海鮮丼と昼からビール!お金を落としてきました二泊目は駒ヶ岳温泉(鶴の湯と同経営)で幹事は42年振りで蛍の乱舞を見て昂奮。夜8時から有名な乳頭温泉郷の「鶴の湯」へ無料バスで行ったし。皆満足してた様子なので幹事も一安心でした。次年度の旅も色々希望が出て、北海道、沖縄、九州、佐渡島、浜松と幹事を悩ませております。往復1500kmの車での移動は62歳の同学にはさぞ辛かったでしょう。

さて来年は何処へ?頭の痛い幹事でした

幹事 野村正信

## 平成24年度弓道部OB射会・懇親会

今年度の弓道部OB射会・懇親会を、お盆時期の土曜日である8月11日に開催しました。

例年の如く開催できることを誠に感謝しております。今年は日程お盆と言うには中途半端な日であったため例年よりは少なかったように感じます。

射会では現役生が1位をさらっていきましたが、OBも2位、3位に残る健闘をみせました。現役時代の基本がしっかりしていたため、卒業してからも安定して引き続けられているのだと感じました。

懇親会はとりあえず吾平にて18:30より行いました。毎年ならば男性ばかりの参加なのですが、珍しく女性の参加もありいつもと違った雰囲気があったようにも感じます。また幹事が今年から変わったのもありますが、全体的に若返っ

たように思います。しかしもっと上の世代のこの話なども交えたらよかったですと感じました。

来年も同じ時期にて行います。あまり来られなかった方々も道場の変化や現役生のがんばりを見ていただきたいと思います。多数の参加をお待ちしております。

幹事 E40 島崎紘巨



### 三 回 目 の 関 東 支 部 同 窓 会

同窓会の皆様お元気でしょうか。関東支部の世話役をしておりますM1の長谷です。

去る1月21日に品川プリンスホテルにて、第3回関東支部同窓会を開催いたしました。

遠く富山から小川勝先生や石山会長などにもご参加いただき、総勢30名での大宴会となりました。1回生から5回生が26名と大半を占めており、やはり定年を迎えて時間的にゆとりが生じ、懐かしい仲間達に会いたいという想いが強くなってきているなという事を再認識いたしました。卒業以来の40数年ぶりの再会にもかかわらず昨日の事のように、あの本郷の里の思い出話に花が咲き、料理に箸を付ける時間も惜しんで、あの黄金のように輝く時代にタイムスリップしていました。

平成22年の会員名簿によりますと、卒業生6千余名の内、関東の1都7県には1割弱の約5百名が在住しております。今後も4年位の間隔で同窓会を開催していこうと考えておりますので、その折には是非仲間の皆様を誘い合っご参加下さいますよう

お願い申し上げます。

それから私の個人的な思いですが、同窓会を活性化する一番の特効薬は、皆さんのそれぞれのクラス単位のクラス会を頻繁に開催していただく事だと思います。クラスの誰かが声を大きく上げて、懐かしい顔が見たいと叫んで下さい。住所不明者の方にも届くように。

本郷の里で5年間培った富山高専のDNAは、あなたの身体の中を今も脈々と流れているのです。



### 番外編 「徒歩による日本一周 達成」の報告

ついに日本一周、達成しました。ゴール地は憧れの北の大地、北海道松前町でした。ゴール後、地元の北海道新聞の取材がありました。

北海道新聞

19年間で3万4600キロ

歩いて夢の日本一周

麻生さん「家族に感謝」

愛知の麻生さん「家族に感謝」

松前町でゴール

19年間で3万4600キロを歩いた麻生さんは、今年1月21日に小樽をスタートし、9月29日、北海道松前町でゴールした。19年間で3万4600キロを歩いた麻生さんは、今年1月21日に小樽をスタートし、9月29日、北海道松前町でゴールした。

#### 〈主な経過〉

- 1993. 12. 19 歩けのスタート 42歳 (東海市～熱田神宮まで)
- 2007. 03. 27 本州一周達成 56歳 (ゴールは下関市)
- 2012. 08. 29 日本一周達成 61歳 (ゴールは北海道、松前町)
- かかった年数: 19年 (計画より1年早く達成)
- 歩いた日数 : 1157日 (毎日歩いても約3年かかる)
- 歩いた距離 : 3万4千6百キロ (地球一周4万キロに少し足りない距離)
- かかった費用: 約 万円 (月3.3万円に相当。小遣いの範囲内)

#### 〈感想〉

スタートから19年、長かったが楽しい旅でした。まずは自分の体力に感謝。そして、私を支えてくれた家族に感謝です。又、日本全国でお世話になった人々にも感謝です。道中多くの人との出会いがありました。自転車で日本縦断中の人、走って日本縦断中の人、民宿の主人、多くの人に出会い感動と元気を貰いました。感謝です。

19年前に近くの熱田神宮まで歩いたのがスタートで、まさか日本一周に挑戦して実現できたとは夢のようです。今回のゴールはひとつの区切りで、今後もずーっと歩き続けます。沖縄の離島、佐渡ヶ島、東北の旧街道歩き、屋久島等、行きたい場所が多くあり楽しみです。

現在、19年間の旅の紀行文を作成中です。 M3 麻生 富雄

追加報告

## K9 同窓会

平成24年8月12日、午後3時30分からANAクラウンホテルにおいて、金属工学科第9回生のクラス会を4年ぶりに開催しました。

今回は、幹事の清水さんが高専を卒業してから30年経過し、年齢も50歳を記念してクラス会をしようとのことで行いました。恩師岩井正雄先生にも参加していただき、総数15名となりました。

海外や県外から駆けつけてくれた者、久しぶりに出席した者など、まず近況報告、仕事、家族、趣味、高専時代、今後の高専などの話題で大いに盛り上がりました。

もう一人幹事のSさん、突然の仕事の都合で参加できませんでしたが代わりに、ホテルに勤務している娘さんが近況報告をしてくれました。

我々も50歳を過ぎ精神的、肉体的にも衰えを感じ

つつも、子供たちは成長しているようです。

7時30時から、会場をスナックアルバーに移り、夜10時30分まで楽しいひとときを過ごすことができました。アルバーのママには休業日にも関わらず、開店していただきありがとうございました。

次回のクラス会には、同級生が元気で再会し、多くの方が出席されるようお願いいたします。

(報告者：酒井 久裕)



## 同窓会助成部活紹介

## 平成24年度 ロボコン報告

メカテック部代表の4M朝日です。日頃より同窓会の皆様の大変な支援に感謝申し上げます。まずは平成23年度の高専ロボコンの報告から行いたいと思います。昨年度の競技テーマは「ロボ・ボウル」。2足歩行するオフense・ロボットを操作し、学生から受け取ったボールを、敵チームの操作するディフェンス・ロボットをかわくぐり、チームメイトに向けてノーバウンドでタッチダウンパスを送ります。そして、そのタッチダウンパスが成功するまでのタイムを競う競技でありました。

岐阜県で行われた地区大会では、Aチームの試合はオフenseの二足ロボットの調子が悪く、少し出遅れてしまいましたが、捕球から発射の流れは完璧でありました。2mを誇るレールから放たれるボールは5mあまりの防御ロボットを軽く無視して綺麗な放物線を描き、10.5m先のチームメイトへどこよりも高くボールを飛ばして、4.5秒というタイムでタッチダウンパスを行うことが出来ました。ディフェンス・ロボットは相手チームのボールをブロックするなど、善戦しましたが、一瞬の隙を突かれて、自分たちより早い時間でタッチダウンを決められてしまうなど、試合には負けてしまいましたが、発射したときの観客や他チームからの称賛があり、魅せることができたのは非常に嬉しく思います。しかし、完成度が非常に高いと内外から言われる中、全国行きを逃してしま

い、悔しい思いでいっぱいです。また、Bチームはディフェンスロボがまるで実際のアメフトのようなぶつかり合いをしてボールをブロックするなど会場を盛り上げていました。オフense・ロボットはしっかりと二足歩行を行い、前に進んでいきましたが、惜しくも判定で負けてしまいました。

今年の高専ロボコンは10月14日(日) 福井県越前市で開催されます。今回のテーマは、「ベスト・ペット」。ペット・ロボットが、学生と協力して玉入れをする競技です。今回は、高専ロボコンで初めて、コントローラーなしで競技を行うことです。初めての試みに心配ですし、今まで自分たちメカテック部を引っ張って来てくれた部長の河原さんが卒業してしまい、不安な部分もありますが、先輩達の蓄えてきた確かな技術力をきちんと継承し、今年の高専ロボコンに生かしていきたいと思っています。今年は今までと違い明確にチームを分けずに、部員全員でアイデアを出し合って、部員全員で勝ちを目指していく方針で行なっています。マシンも着実に完成しつつあります。

最後になりますが、ロボコンに携わる先生方の多方面にわたる支援に感謝いたします。また同窓会からの多大な支援に対して厚く御礼申し上げます。地区予選大会では、これまでの悔しさを力に変えて、周囲の期待に応えるべく部員一同、両国技館を目指して精進してまいります。

平成24年 8月 メカテック部 4M 朝日

柔道部 近況報告

富山高専 柔道部は5年生3人(内1名女子)、4年生6名、3年生2名(内1名マネージャー)、2年生3名、1年生2名の16名で活動を行っています。柔道部は普段の練習に加え年2回県外遠征に出かけています。今回いただいた助成金は遠征の補助金として活用させていただきました。

富山高専柔道部の成績は北陸地区高専体育大会において11連覇中であり、全国高専体育大会において7年連続3位の成績を収めています。平成24年度の全国高専体育大会においては女子63kg級において白川が優勝、男子73kg級において堀田が3位の成績を収めたものの団体入賞することができず、シード権を逃してしまいました。次年度は再びシード権を獲得するべく上位

入賞を目指し部員が一丸となって頑張りたいと思いますので、引き続きの応援お願いいたします。(柔道部顧問 畔田博文; C21 卒業生)



野球部 近況報告

同窓会より、クラブ活動助成をいただき、どうもありがとうございました。

野球部は、高専大会へ出場した選手は高校の大会に出場できないため、3年生以下は高校の大会、4・5年生は高専の大会に参加しております。旧富山商船高専との統合により、現在の3年生から学年3クラスに減り、今まで以上に部員確保が大変になってきています。また、昨年、統合によりユニフォームが変わりました。

4・5年生の高専チームの北陸地区高専大会は、初戦の福井高専に勝利しましたが、決勝戦は石川高専に敗れ、準優勝で、残念ながら全国大会へ出場できませんでした。

高校チームは、本年度、春・夏の県大会はいずれも初戦敗退でしたが、夏季大会初戦は春の北信越大会優勝の富山第一高校に4:7と善戦することができました。

新チーム初めての公式戦となった呉東大会(秋の

大会のシードを決める大会)では、1回戦魚津高校に7:3と勝利し、2回戦で国際大付属高校に0:5と敗退しました。

野球部員たちは、頑張っ練習していますので、大会のときには同窓生の皆様も球場に応援に来て下さい。

野球部顧問 機械システム工学科 井上 誠



バスケットボール部 近況報告 (去年の助成)

本郷のバスケットボール部は、H17年に、部員減で存続が難しくなった女子部が男子部に合同する形で名前を変えて再発足し、男子チームを主体とした部活動として今に至ります。この年からM37卒業生の碓井良平さんをコーチに迎え、部員たちは、まずは高校・高専のバスケットに太刀打ちできるフィジカルや走力を身につけるため、ひたすら走る練習を積んでいます。中学時代にそれなりのキャリアがあっても、強豪校のゾーンプレスやディフェンスの圧力やゴール下のどつき合いにはやはり面食らうことが多く、苦しい夏を乗り越え、秋の3つの大会で経験を積み、1月の新人大会でチーム

として形になっていく。どの年の部員たちも、これを繰り返しながら成長しています。10人弱の部員数、平均身長の高さ、勉強の厳しさといったハンディは小さくありませんが、部員たちは月曜から土曜まで愚直に練習に励み、ここ数年は高校県大会の3回戦まで勝ち進むこともあり、県下の中堅校(富山、富山中部、富山工業など)となれば対等の試合ができるまで力を付けています。こうしたバスケットのレベルを維持しながら、高校ではベスト8突破、高専では地区優勝が私たちの目標です。同窓会のご支援に応えるためにも、日々精進を重ねていきます。

平成 24 年度前期各種大会記録

大会名等	成績	氏名	日付
第63回富山県高等学校春季相撲選手権大会	個人 敢闘賞	2M 大江 悠司	平成24年4月22日
平成24年度北陸地区高等専門学校春季卓球大会	第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年5月19日
第48回富山県高等学校将棋選手権大会	リーグ戦 第2位	1E 飴井 慎太郎	平成24年5月26日
第48回富山県高等学校将棋選手権大会	リーグ戦 第2位	1C 野村 俊光	平成24年5月26日
第48回富山県高等学校将棋選手権大会(高文連)	男子団体戦 準優勝	富山高等専門学校A	平成24年5月26日
第48回富山県高等学校将棋選手権大会(高文連)	女子個人戦 優勝	3M藤川枝実	平成24年5月26日
第48回富山県高等学校将棋選手権大会(高文連)	リーグ戦 第1位	3M藤川枝実	平成24年5月26日
第48回富山県高等学校将棋選手権大会(高文連)	男子個人戦 準優勝	2M 高島 慧也	平成24年5月27日
第36回全国高等学校囲碁選手権大会富山県大会	全国大会個人戦女子の部出場権獲得	3M森 菜都未	平成24年6月17日
富山県高校総体水泳競技大会	競泳男子総合 3位 54点	富山高専本郷	平成24年6月17日
第65回富山県高等学校選手権水泳競技大会	男子400mリレー 第3位	富山高専本郷	平成24年6月17日
第65回富山県高等学校選手権水泳競技大会	男子400mメドレーリレー 第3位	富山高専本郷	平成24年6月17日
第65回富山県高等学校選手権水泳競技大会	男子400m個人メドレー 第3位	1M大代 宗弥	平成24年6月17日
第65回富山県高等学校選手権水泳競技大会	男子200m個人メドレー 第3位	1M大代 宗弥	平成24年6月17日
第65回富山県高等学校選手権水泳競技大会	男子200m自由形 第2位	2E佐伯 勇弥	平成24年6月17日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	ラグビー 第2位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年6月30日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	バスケットボール男子 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	ソフトテニス女子団体 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	テニス女子団体 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	野球 第2位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月9日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	卓球男子団体 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	バドミントン男子団体 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	バドミントン女子団体 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子総合 第2位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子400mリレー 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子400mメドレーリレー 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳女子総合 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳女子200mリレー 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	剣道男子団体 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	剣道女子団体 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子団体 優勝	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	ハンドボール 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	陸上男子 三段跳 第3位	5M岡本 将征	平成24年6月30日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	陸上男子 1500m 第3位	2E森崎 亮太	平成24年6月30日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	テニス女子ダブルス 第3位	4K島谷 知里、5K若林 奈々恵	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	卓球男子シングルス 第3位	4K貫田 洋輔	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	卓球男子ダブルス 第2位	2M熊野 雄介、4C山村 聖輝	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	卓球男子ダブルス 第3位	3M大野 友也、4E藤田 慎也	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	バドミントン男子シングルス 第3位	2C安田 敬太	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	バドミントン女子ダブルス 第2位	3M平林 萌絵、5C山崎 由貴	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子100m自由形 第2位	2M深山 宏樹	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子200m自由形 優勝	2E佐伯 勇弥	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子400m自由形 優勝	2E佐伯 勇弥	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子400m自由形 第2位	1M安井 康平	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子800m自由形 優勝	1M安井 康平	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子200m平泳 第2位	1C平林 大征	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子200m平泳 第3位	3C竹原 大揮	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子100mバタフライ 優勝	1M大代 宗弥	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子200m個人メドレー 優勝	1M大代 宗弥	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳男子200m個人メドレー 第2位	1C平林 大征	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳女子100m自由形 優勝	2C堀田 祥子	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳女子100m平泳 優勝	2C堀田 祥子	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	水泳女子50m背泳 第2位	1C福満 明実	平成24年7月7日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	剣道男子個人 第3位	3M井田 史哉	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 優勝	4C八十島 亘宏	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 優勝	4K堀田謙弥	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 第2位	3E松田 立樹	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 第3位	2E明 卓摩	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 優勝	4M岩本 拓朗	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 第2位	2C和泉 潤	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道男子個人 第3位	4M毛利 亮太	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	柔道女子個人 優勝	5K白川 郁子	平成24年7月8日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	総合 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月15日
第47回北陸地区高等専門学校体育大会	男子総合 第2位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年7月15日
第24年度富山県スポーツフェスタ第65回富山県民体育大会	弓道競技 少年女子 近的 第1位	2C武藤 亜実	平成24年7月14日
第8回富山市民体育大会	トライアスロン競技 高校男子 第1位	2M深山 宏樹	平成24年7月15日
第25回高校将棋竜王戦富山県大会(将棋連盟)	第5位	3E瀬川 浩史	平成24年7月8日
第25回高校将棋竜王戦富山県大会(将棋連盟)	第5位	3E坂本 翔太	平成24年7月8日
第45回全国高等専門学校サッカー選手権予選北信越大会	優秀選手賞	5K田中 大喜	平成24年7月15日
第47回全国高等専門学校体育大会	卓球男子団体 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年8月19日
第47回全国高等専門学校体育大会	柔道男子個人 第3位	4K堀田謙弥	平成24年8月23日
第47回全国高等専門学校体育大会	柔道女子個人 優勝	5K白川 郁子	平成24年8月23日
第19回全国高等専門学校将棋大会	男子団体 第3位	富山高等専門学校本郷キャンパス	平成24年8月24日
第19回全国高等専門学校将棋大会	女子個人戦 優勝	5K高村 咲也子	平成24年8月24日
第47回全国高等専門学校体育大会	水泳女子100m平泳 第3位	2C堀田 祥子	平成24年8月26日
第47回全国高等専門学校体育大会	水泳男子400m自由形 第3位	2E佐伯 勇弥	平成24年8月26日
第34回全国高等専門学校通信弓道大会	女子団体 第2位	富山高等専門学校本郷キャンパス	



# 同窓会会計報告

平成23年度 決算報告

平成24年度 予算

収入の部

平成23年4月1日～平成24年3月31日

項目	決算額	摘要
繰越金	100,121	前期繰越
同窓会会費	1,800,000	会費15,000円×120名
特別会計より繰入	200,000	
その他	10,000	名簿販売2冊
利息	174	普通預金
計	2,110,295	

支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	165,809	11/5 開催
理事会費	78,985	6/25 開催
学生会助成費	130,000	クラブ活動助成金、高専祭助成
ロボコン助成費	60,000	ロボコン活動
渉外費	30,000	「全国高専同窓会連絡会協議会」出張旅費
事務局運営費	30,000	
会報発行活動費	764,103	会報誌「ほんごう」10月発行、総会案内含む
定期協議会費	51,659	三者懇談会 9/2 開催
支部活動助成費	150,000	関東支部・クラス会助成
祝賀壮行会費	146,750	花・会場設営・会費 新クラス理事への助成金
講演会費	0	
負担金	90,420	技術振興会会費
ホームページ維持費	66,860	ホームページ更新・ドメイン利用料 レンタルサーバー料
予備費	100,420	東日本大震災義援金
繰越金	245,289	次年度に繰り越し
計	2,110,295	

収入の部

自平成24年4月1日  
至平成25年3月31日

項目	予算額	摘要
繰越金	245,289	
同窓会会費	2,070,000	138人×15,000円
利息	100	
計	2,315,389	

支出の部

項目	予算額	摘要
総会費	200,000	
理事会費	100,000	常任理事会を含む
学生会助成費	130,000	クラブ活動等助成 高専祭等
ロボコン助成費	60,000	2件分
渉外費	60,000	「全国高専同窓会連絡会」 「ヒューマンネットワーク高専」 出席旅費
事務局費	30,000	
会報発行活動費	820,000	総会案内を含む
定期協議会費	60,000	三者懇談会費を含む
支部活動助成費	100,000	クラス会助成
祝賀壮行会費	160,000	
講演会費	30,000	
負担金	100,000	技術振興会会費
ホームページ維持費	70,000	
予備費	395,389	
計	2,315,389	

## 編集後記

9月7日に学校・後援会・同窓会の三者で懇談会を行いました。まず、学校は、今年から併願の受験になったため、853人もの受験があり、採点作業も大変で、なおかつ、入学予定者数がかめず、18人の定員オーバーになってしまった。(同窓会にとっては、会費が18人分増えるため喜ばしいのですが、大変でしたね。)

後援会は、2年後に射水キャンパスと統合するため、今までに貯まった特別会計の使い道に苦慮しているとの事。できれば、50周年記念事業に何らかの形で活用できたらという意見が出ました。

同窓会としても、50周年記念事業には、協力していくつもりです。何をすれば、富山高専のPR、学校の発展につながるのか、皆さんも考えてみてください。

話は変わりますが、元後援会会長、C9のクラス理事の石田誠さんが、不慮の事故により亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。特に高専に理解のあった方でしたので、非常に残念です。C9のクラス理事が、不在になったため、我こそはと思われる方は、ご連絡下さい。

6月に行われた定時理事会に専攻科卒業予定の方が、出席され5年で就職するよりも、専攻科卒の方が就職活動は、困難との事。確かに、5年で就職する場合、担任の推薦状があり、ほぼ合格が決まるまで面倒をみてもらえるが、専攻科だと、他の大学と同じで全部自分の責任で行う必要がある。今年は、就職希望が多かったようですが、結局は、本人の意思と社会情勢で決まるのだろう。

(事務局担当 Mより)

# Photo



定時理事会



小川先生と卓球部OB

## — 昨年のほんごう会より —



尾崎先生



武田先生



石崎先生



宮下 元校長



歓談風景



二次会



C9 石田誠さん（最後のほんごう会に）

## 同窓会ホームページを活用しよう!!

ほんごう会のホームページアドレスは

ほんごう会  <http://www.tk-hongou13.net/>

**【会員専用ページ閲覧 ID とパスワード】**

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

なお、メールアドレスは

info@tk-hongou13.net です。

ホームページの管理には、費用がかかっています。  
パソコンに詳しい方でボランティアで運営・管理して  
いただける方、ご連絡下さい!!

